

常位胎盤早期剥離

常位胎盤早期剥離とは、何らかの原因により、赤ちゃんが生まれる前に胎盤がはがれることを言います。母児ともに危険な状態になる可能性が高い、とても怖い病気です。

常位胎盤早期剥離は1000分娩あたり単胎5.9件、双胎で1.22件に発症します。

常位胎盤早期剥離は、自宅で起こることもあれば、分娩経過中に突然起こることもあります。そのため、いつ誰に起こるのかわかりません。



胎盤が先に剥がれてしまうと、赤ちゃんに酸素がいきわたらず脳性まひなどの障害が残ることや亡くなってしまうことがあります。また、母体も出血が多いと危険な状態になる可能性があります。

★常位胎盤早期剥離になりやすいリスク因子

こんな人がなりやすい！

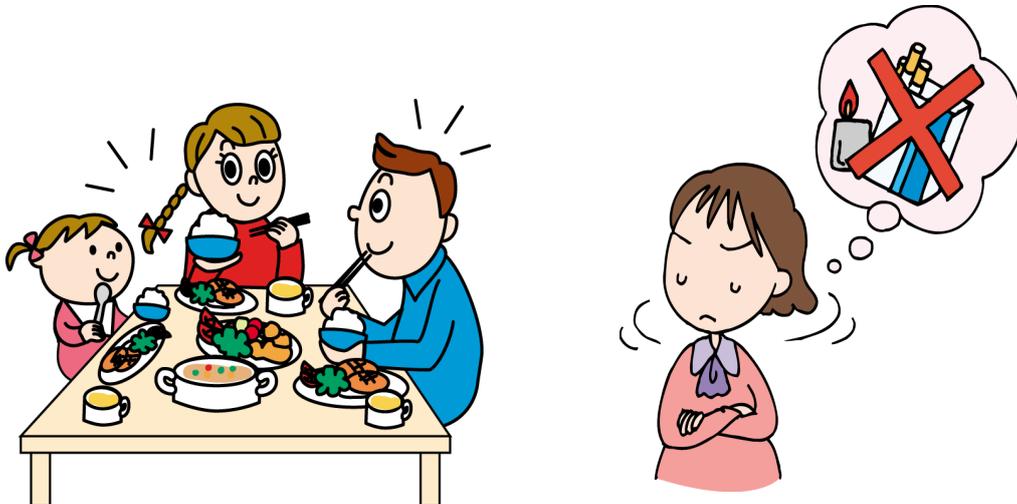
妊娠高血圧症候群
常位胎盤早期剥離の既往
切迫早産

腹部の外傷(転倒や交通事故など)
喫煙

これらのリスク因子に該当しない場合でも発症することがあります。

* 妊娠高血圧症候群の妊産婦は常位胎盤早期剥離の発症率が4.45倍、喫煙者のリスクは1.37倍とも言われています。

できるだけリスク因子を下げるような生活をしましょう。



★こんな時は早く受診してください。

急激な腹痛、**持続的**な痛み(陣痛とは違う)
お腹が板のように硬い
多めの出血
胎動の減少または消失

電話で相談の上受診してください。



腹痛は、周期的で陣痛様のこともあり、また腰痛や下痢が初期症状となることもあります。そのため切迫早産と似た症状であり、区別が難しいこともあります。異常を感じた時には早めに相談、受診をしましょう。

★予防方法

- ①定期健診は必ず受けましょう。
- ②妊娠高血圧症候群にならないように、体重・食事などに注意しましょう。
- ③喫煙はやめましょう。
- ④いつもと違う症状があるときは、早めに受診しましょう。

※受診方法については38ページを参照してください

リスクを軽減させるためにできることをしてみよう。

